

収納前に

✓着用した衣類はクリーニングして収納

冬に活躍したコートやダウン、スーツにセーター、一度でも着用したらクリーニングに出しましょう。衣替えの基本です。

家庭で洗えるものもクリーニング店で洗うと汚れの落ちや仕上がりが違いますので是非お試しください。

そのまま放置していると……

ホコリや汗、食べこぼし、化粧品などの汚れが付着したまま放置していると変色、虫食いの原因になります。

✓衣替えの前に収納場所の中を掃除

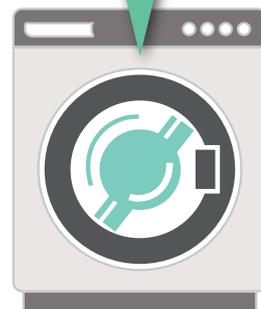
キレイになった衣類を収納する前にクローゼット、押入れ、タンスなどの収納場所を掃除しましょう。

収納場所にホコリが残っていると衣類を食べる虫や虫の卵がついていることも…。

✓衣類の入れ替えは晴れた空気が乾燥した日に

衣類の入れ替えは晴れた、空気が乾燥している（湿度が低い）日に行いましょう。雨の日や湿度が多い日にしまってしまうと収納場所に湿度がこもりカビの原因になります。

また、クリーニングから戻ってきた際についているビニールカバーは外して収納しましょう。ビニールカバーをつけたまま収納すると湿度がこもる原因に。カバーをつけるなら不織布のカバーをつけるなど工夫を。



クローゼット・押入れの収納

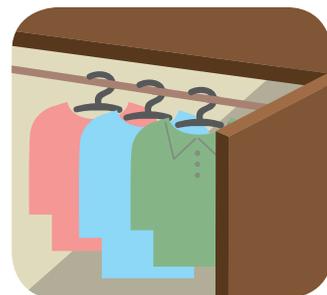
Closet

✓空気の通りをつくり、湿気の原因を作らない

衣類の詰め過ぎは型崩れやシワの原因になるほか、湿度がたまりカビ発生の原因となります。また、定期的に空気の入れ替えを行ったり、除湿剤を上手に使うことでクローゼットの中も快適な状態を心掛けましょう。

✓防虫剤を使って、衣類を虫から守る

防虫剤の成分は空気よりも重いので上から下に広がります。防虫剤の使用量や有効期間を把握して利用することで虫食いの被害を防ぐこととなります。



タンス・衣装ケース

Chest & Storage case

✓衣類を詰め込みすぎない

衣類の収納は、タンス、収納ケースの8分目くらいまでにしましょう。湿度がこもる原因になったり防虫剤の効果が薄れてしまう恐れがあります。

✓素材に合わせて収納、湿気は下へこもる

引き出しの上段にはシルク・カシミア・アルパカ等の軽くて柔らかいもの、中段にウールをしまいましょう。カビ対策になります。



夏物衣料を清潔な状態で片付ける

しまいい洗い



夏物スーツ



浴衣



学生服

etc…



こんな状態で衣類を保管していませんか？

汗をかいた衣類をそのまましまっている

☀️シミや黄ばみの原因に…

家庭洗濯だけで十分だ

☀️汚れには水溶性汚れ、油性汚れ、不溶性汚れなどがあり、家庭洗濯だけでは十分に汚れが落ちていない可能性が…

太陽光や蛍光灯に当たっている場所にしまっている

☀️太陽光や蛍光灯は紫外線が含まれており変色の原因に…

来シーズンも良い状態で
着られるように
クリーニング店へ
ご相談ください。